

自主防災と女性防火クラブ



島根県女性防火クラブ連絡協議会会長
山口 洋枝

私たちの地域では、防火組織を作り婦人防火隊も作り、強固に防火に備えて参りました。その後、阪神・淡路大震災、鳥取西部地震で身近な隣近所の人たちが多くの命を救ったと聞き、自主防災の重要性を強く実感しました。

しかし、ある地区の会長さんから、「各町内に自主防災組織ができ、モデル地区を選定し強化に努めているから、女性防火クラブはいらないのではないか」という発言があり、とてもびっくりした次第です。

女性防火クラブは、自主防災の一員です。まずは身近な所から、「できることから始めよう」と話し合ってまいりました。そして、活動を進める中で組織の力を活かして、初期消火、心肺蘇生法、救急法、常時の家庭の備え等の訓練を積み重ねていくことこそが、何よりも一番大切だと私は思います。

今まで以上に、女性防火クラブの組織の強化と日々の訓練を大切にし、強力な自主防災の一員になれるように、今後とも取り組んでまいりたいと思います。

[▲ このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 全国消防防災主管課長会議について](#)
- [2. 平成15年（1月～9月）における火災の概要（抜粋）](#)
- [3. 平成15年度 民間防火組織の状況](#)